

自分で作る昭和時代！ 各内閣の出来事を箇条書きでまとめましょう

若槻(民政党) 1926 昭和に改元 1926 ラジオ放送 (日本放送協会) 1927 金融恐慌 (片岡直温蔵相) 台銀救済緊急勅令 案が枢密院で否決	田中(政友会) 1927 モラトリアム 1928 山東出兵 済南事件 初の普通選挙 無産政党 8 名当選 三一五事件 特高を全県設置 治安維持法改正 満州某重大事件 パリ不戦条約 天皇叱責・急死	浜口(民政党) 金輸出解禁 幣原外交 昭和恐慌 農業恐慌 欠食児童、女子身売り 三月事件 重要産業統制法 (不況カルテル容認) ロンドン海軍軍縮条約 統帥権干犯問題 浜口狙撃(東京駅)	若槻②(民政党) 浜口の後継 柳条湖事件(九月) 不拡大方針 十月事件 総辞職	犬養(政友会) 管理通貨制度 (金輸出再禁止) 第 1 次上海事変 血盟団事件 満州国建国宣言 (執政…溥儀) 五・一五事件 政党内閣終焉 さんじゅうめいご	斎藤 稳健派内閣 日満議定書 リットン報告書 国際連盟脱退 (松岡洋右全権) 塘沽停戦協定 (満州事変終結) 華北分離工作	岡田 稳健派内閣 陸軍パンフ事件 天皇機関説事件 国体明徴声明 相沢事件 二・二六事件 (戒厳令施行) →皇道派壊滅
広田 挙国一致内閣 (軍も関与する意) 軍部大臣現役武官 制復活 国策の基準(南進) 日独防共協定 文部省『国体の本義』 宇垣組閣断念、流産 (軍部大臣現役武官制)	林銑十郎 何もせんじゅうろ う (軍財抱合)	近衛① 挙国一致内閣 カリスマ政治家 盧溝橋事件 第二次上海事変 →日中戦争 両国宣戦布告せず 南京占領(重慶へ) 企画院(司令塔) 国家総動員法 国民政府を対手とせず →汪兆銘、重慶脱出 東亜新秩序声明 →援蒋ルート	平沼 挙国一致内閣 ノモンハン事件 国民徴用令 日米通商航海条約 破棄を通告される 独ソ不可侵条約 欧州情勢は複雑怪奇	阿部・米内 挙国一致内閣 第二次世界大戦 →不介入を声明 価格等統制令 (公定価格の導入) 日独同盟の動き →屑鉄・ガソリン禁輸 ナチス快進撃 ナチス、パリ占領 近衛、新体制運動 政友会・民政党自主解散	近衛② 大政翼賛会総裁 (ナチス党を模範) 北部仏印進駐 (援蒋ルート遮断) →日米対立激化 松岡構想 ・日独伊三国同盟 ・日ソ中立条約 独ソ戦開始 →松岡構想崩壊 松岡外相を除くた め一度内閣総辞職	近衛③ 南部仏印進駐 (南方資源目的) 対日石油禁輸 在米資産凍結 帝国国策遂行要領 日米交渉失敗